

学び舎に別れ 希望を胸に 惜春感謝の同窓会

ホームカミングデー
2015●5月16日(土)



第49号

しらすぎ会総会は
5月の第3土曜。従って今回は
2016年5月21日



昭和56年以来、全学科が揃って行なうようになった卒業式後の正門前撮影を再び。11時30分と13時(下)に。元気爆発「ヤッホー」



全学科揃っての正門前撮影は、アルバム制作のためのフルタ写真館のアイデアだった

ご挨拶

しらすぎ会
第23代会長
山崎 美恵子



● 社会の動きが激しい中で高知県立大学は一人法人二大学となり、二期目を迎えられた南裕子学長(しらすぎ会名誉会長)のもと「県民大学」と標榜し、さらなる発展を続け、地域と共に育つ新たなスタートを切りました。

平成27年3月の卒業生を迎え、会員数は11,408名となりました。学部学科・大学院卒業生数も時の流れと共に変遷し、それぞれに占める比率も異なる様相を示しています。このことにより社会に果たす役割が大きく変容していることを知ることができます。

しらすぎ会も母校の伝統と歴史を引継ぎながら母校の状況を感じ、より充実した活動をしていくことが求められています。そこで、まず、しらすぎ会組織図を明確にしました。卒業生の意見を11の支部活動を通してできる限りお聴きする方針で、支部総会には本部の理事も参加することと致しました。

平成27年8月8日には女子医専開校から70年を迎えました。卒業生の年齢幅も益々広がりますが、ボトムアップの合い言葉のもと、できるだけ皆さんの声をお聴きできることを願っております。そのためにも支部総会にはぜひご出席戴けますよう、お願い致します。

なお、メモリアル碑モニュメント建設につきましては多大なご協力をいただいておりますことに感謝申し上げます(最終面に詳細を掲載しております)。

● 永国寺の旧校舎にお別れ！ 学び舎の思い出は命ある限り永遠に！

慣れ親しんだ永国寺の校舎に別れを告げることができました。県内在住者が中心にはなりましたが、総会開催日の午前中、落書きを校舎に残し、正門玄関前で撮影。抹茶に新校舎見学、在校生の活動発表までもが聴ける、盛りだくさんのメニューになりました。大学側からのデー実施打診は昨年5月。最終的には「しらすぎ会主催、西谷理事のナイスなアイデアや彼末、川村理事らの実働で準備万端！ 大学教職員の皆様にも好意的なご協力を戴きました。切羽詰まった広報も奏功。深く厚く感謝申し上げます(永尾朱美前会長談)。



まず記念に写しちよきましようや！



抹茶席は、あちこち思い出話の花畑



涙なしでは語れない力作傑作落書き群

ホームカミングデー 2015 ● 5月16日(土)

校舎にお別れ月 350人の思いの丈

活動主体も企画メニューもはっきりできないまま、「お別れはしたい」という想いだけで日々が流れていきましたが、最終的には諸先輩の助言で県支部へもお便りでき、地元マスコミのお知らせも頼め、盛会裡に終えることができました。「学生活動発表会」を催せ、学生支援(活動助成金壹萬円提供)ができたことも、同窓会活動に記念の一步を残せることになりました。



そんなことあったね～話題は途切れません



茶道部、OB、裏方は嬉しい悲鳴、大忙し!

●新校舎見学、興味津々で



●新校舎を丁寧にご案内いただきました。廊下の窓は、全て透明のガラスバリ。落ち着かないのでは?と思われましたが、いざ中に入ると意外とそうでもない。東の校舎からは、お城がクッキリ! スペースが工夫されていて、廊下で簡単なミーティングができるようにテーブルと椅子はそこそこに。背の高いソファに座ると周りの音が聞こえないという優れものも! 工科大と一緒にいろいろな専門の学生との交流も楽しみ。「私たちがこんなところで勉強したかったねえ…」ため息のするような感想です。



高知城クッキリ、大きな体育館の屋根



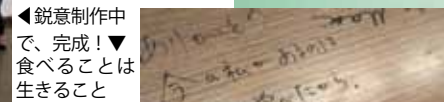
廊下のあちこち、椅子も机もなんだかオシャレ

●生協食堂はほのほの温かくて

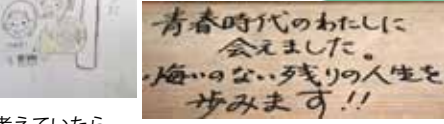
●学食での、鯖の味噌煮定食を食べました。おいしかった! ご飯の量の少なさにびっくり。さすが女子大と感心していたら、「あっ、県立大になって男の子もいるんだ」と…。厨房の人がご飯の量をかえているのです。「学生のころは、鯖の味噌煮なんて絶対食べなかったのに…!」。年月の流れと、自分の年齢を改めて…(笑)。



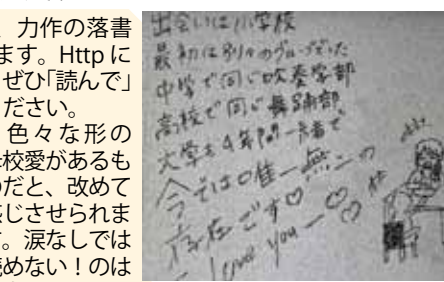
生協食堂大賑わい、学生さんの活動展示発表会も開催



▲今の私があるのはここで学べたから



▲悔いのない残りの人生を歩みます!



▲出合いは小学校…今では唯一無二の存在!

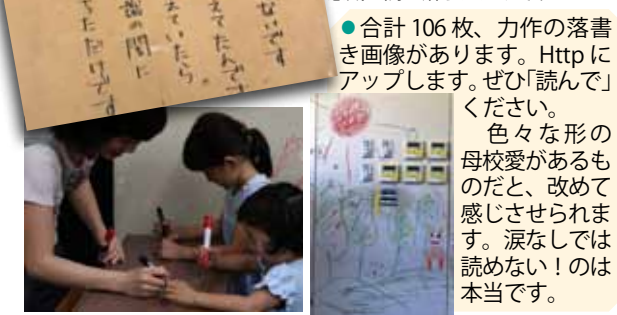
●思い出ボロボロ落書き群



◀鋭意制作中で、完成! ▼食べることは生きること



◀寝てないです。考えていたら意識の間に落ちただけです



●合計 106 枚、力作の落書き画像があります。Http にアップします。ぜひ「読んで」ください。色々な形の母校愛があるものだと、改めて感じさせられます。涙なしでは読めない! のは本当です。

●思い出話の花畑、嬉しい嬉しい抹茶席

●ただただ、ただただ、懐かしい……

●私たちがのお昼、時間がないときは、学食か近くのタバコ屋さんのお寿司。時間があると、お城に行ったり、近くの喫茶店だったり。2時間目のない日は、門田のコロッケを買って、ジャズ喫茶木馬の2階へ一目散。モーニング終了に間に合いたかった…。作法室は、新入のコンパで泊まった経験が皆さんあるでしょう。一緒に見学した友と私は華道部で毎週行ってお花を活けました。「ここに棚、お花器をおいちゃったでねえ」。忘年会では、朝からおでんの準備に何回も出入りした…。茶道部の人たちも同じ思いでけっこうたくさんの方が名残を惜しんでいました。卒業以来会ったことのなかった華道部の後輩にも会えました。新しい校舎にもこんな場所があるのでしょうか?

●結局、ホームカミングデーでの出逢いは…

●前日、コーラスで一緒だったお二人に受付でばったり! 「えっ? 女子大の卒業生だったんですか?」そう。私ら 28 年の卒業よ〜「えーっ、私 28 年生まれです」。仕事でも、サークルでも、大学でも! 先輩でした。(以上、報告は広報担当理事仁尾郁でした)



北裏の通りの実験棟、東向こうに新しい教育研究棟

よひつごそ先輩後輩の皆さん

川田昭子さん (生活科学科5回生 昭和32年3月卒業) 香川県在住

日舞の師匠が私の生き甲斐

生まれ育った環境

私は小豆島の中山地区で生まれ育ちました。この地区は江戸時代から続いている農村歌舞伎の盛んな所で、春日神社の境内に舞台があります。毎年十月の第二日曜日に素人歌舞伎が演じられます。



この地区のおおかたの人は歌舞伎、歌舞伎舞踊に関心を持っています。こういう所で育ちましたので、私も舞踊に興味を持っていました。

生活に余裕が

できたとき

将来を見通し...

子育ても済み、生活に余裕の出たきた五十歳のとき、本格的に日本舞踊を習おうと思って藤間流に入門しました。週一回練習に通い、五十二歳で名取りの芸名をいただきました。稽古を重ね、六十二歳のとき、とうとう師範の免状をいただくことができました。この頃、地区の自治会で同好会が盛んになり、日本舞踊を習い



高松市老人会芸能発表会 50周年の年 (H25年10月) に「松づくし」を舞う

たいという方が三名いました。この人たちをお弟子さんに週一回の稽古を始めました。平成19年に一宮地区全体の老人会が日本舞踊の同好会をつくりました。そして、この会の師範として招かれました。会員数は変動がありますが、二十名程度です。男性会員も発足しています。最年長のかたは九十二歳です。

身体のおちこちに故障が生じて十分な動きができない人が増えてきました。私も膝が痛く坐ることが難しくなってきました。痛いと

ころに負担がかからないような振りつけをして教えています。三味線ものの小曲、昔の歌謡曲も教えています。
長い年月練習した甲斐があつて会員たちは上達し、高松市老人連合会の芸能発表会に出演できました。そして、毎年発表会を目指して練習に励んでいます。

二宮和嘉子さん (英文学科1回生 昭和35年3月卒業) 鹿児島県在住

ねぎ坊主

世界一周は何回目？

世界一周クルーズは昨年11月下旬、神戸港からスタートした。船舶法に則り乗船24時間以内に救命胴衣をつけて遭難避難訓練をする。そして夜は歓迎パーティと少々興奮しつつ気ぜわしい。

「あなた、世界一周は何回目？」パーティのテーブルについていた時、臨席の女性に突然聞かれた。



ひと様のよろこびが...

この日舞の会で踊りを教えることが、退職後の私の生き甲斐になっていきます。高齢者の方たちにも喜んでもらい、社会貢献が少しは出来ていると思っています。

後輩の皆さんも趣味を活かしてお花、絵手紙、手芸等高齢者の皆さんの趣味のお手伝いをしてさしあげてはいかがでしょう。ひと様のよろこびが自身のよろこびとなり、自分の生き甲斐と社会貢献活動にもなると思います。

「えっ? ...」。一生に一度、世界を船で巡ってみたい。その夢の実現で今ここにいる私に何回目とは:「初めてですが、あなたは何回目ですか?」「二回目です」。その隣りは「私は三度目」という。長旅を二度、三度重ねるには、まず健康であること、そして時間・費用などがかわわつてくる。色々聞いてみると中には最初の船旅で同室となり、気の合った中年女性四人が、今回も世界一周を楽しもうと乗っていた。また、妻に先立たれた家事は苦手で困っていた男性が、一度乗ってみると自分の船室はメイドが清掃、食事はレストランで、楽し



ペリト・モレノ氷河 2015.1.13 撮影

い催物は毎晩あり退屈しない。友だちもできて話し相手にも困らないと乗り続けて、今回九回目という八十代の元気な男性もいた。

一〇五日間の世界旅

船は地球を南回りで五万五千キロ航行。南シナ海、マラッカ海峡、南大西洋、ビーグル水道、マゼラン海峡、パタゴニアフィヨルド、南太平洋、そして硫黄島を通過し、一〇五日間の世界一周を終えて3月上旬帰国した。

14カ国、17寄港地を訪ねたが、南米、中でもパタゴニア南部、チリ国境沿いにある世界遺産ロス・グラシアレスの「ペリト・モレノ氷河」はお勧めの地。ロス・グラシアレスとはスペイン語で「氷河」の意味。透明度の高い氷は青い光だけを反射して氷河は青く見える。中でもペリト・モレノ氷河は一年に六〇〇mから八〇〇m動く。非常に活発で高さ八〇mの先端部が崩落する瞬間を数回見て撮影した。

外国の旅は日本にいる時の自分を冷静に眺められ「旅は心の洗濯」となる。些細なことに気を取られる毎日では困る。これからも機会を見て旅の夢を実現したい。

では一句、
ねぎ坊主 身の程知らず 夢多き
和嘉子

加納三千子さん(生活科学科14回生 1966年3月卒業) 広島県在住

食と暮らしの課題に取り組む日々

食の大事さへの気づき

卒業してはや50年。寮や学舎の変化は大きいようですが、私自身も大いに変わりました。家政学は苦手でしたが、皮肉なことに、中学校で1年、短大で41年、そして今も「食のあり方と今の暮らしの問題点」を考えることが私の生きる術となりました。



用」しながらの『自立と支え合いのまちづくり』を考えています。

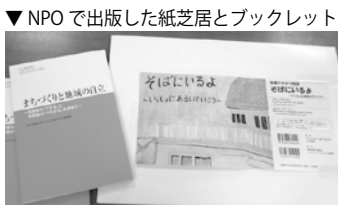
会員の得意なことを報告し合う

居場所づくりから始め、最近では建築物の耐震診断、被爆者から聞いた話をもとに短大生が作成した

「被爆アオギリ」の紙芝居を日・英・仏の三カ国語

で出版、施設の利用者の皆さんと小物作りをし、その

の祭りで利用者の方々から販売する、などの試みをしています。



▼NPOで出版した紙芝居とブックレット

地域の資源の活かし方

新しい世紀を迎えた頃、夫の介護と死を契機に、「高齢者の生活のサステナビリティ(持続可能性)」に必要な仕組みを科研費の助成を受けて考えてきました。

ヒトやモノの有効活用

定年後は科研仲間を中心にNPO法人を立ち上げ、テーマの具体化、つまり「ヒトやモノを有効活用

とで施設職員も驚くほど生き生きされるのが分かりました。赤いワイシャツに白いブレザー姿で颯

爽と来られたのは戦争体験を話して下さった方でした。

90代の方々の戦争体験を聞きながら、この人たちこそ地域の資源。この貴重な体験を聞き取って書き残し、次の世代に伝えることも必要だな、と思うこの頃です。



▲紙芝居の読み手になることでイキイキ!



▲颯爽と赤シャツ白ブレザーで戦争体験を

試行錯誤を重ねる日々により甲斐

中学生の頃からの夢

中学生の頃から図書館司書になりたかった私は、大学卒業後、アルバイトをしながら学費を貯めて、県外の大学で司書講習を受講して司書の資格を取りました。

うになつていました。

ひたすら勉強の毎日

2カ月の司書講習で得た知識などは役に立たず、移転先の図書館には職員一人の予定でしたので、開館日までは系列の大学図書館で

渡りに舟!

資格を取って1年後、高知リハビリテーション学院が新築移転するため、図書室の司書を募集しているとの話があり、渡りに舟と飛び乗ったのがこの仕事を始めるきっかけです。



先輩司書からレクチャーを受け、ひたすら勉強の毎日でした。

開館後、私を待ち



いう明確な目標を持ち、向学心に燃えていました。何とか学生の要

求にこたえようと、学習環境を整え、便利なサービスを提供し、教員と協同で魅力ある蔵書構築を図っていくうちに、少しずつ利用者の信頼を得て、図書館の形になってきました。

成長する有機体として

三度の産休と育休を経て、現在高知学園短期大学図書館で働いています。ここ数年、大学図書館は、新たな学習教育支援の役割も求められるようになってきており、今でも勉強が欠かせません。

教職員や学生と力を合わせてより良い図書館サービスを提供しようと試行錯誤を重ねている毎日です。

秋には図書館システムが変わり、もっと便利になる予定で、いま準備と打合せに追われています。この図書館の館長は高知女子大学の先輩で、何とも心強く、頼もしく感じています。

図書館学の父と呼ばれるランガナタンによると「図書館は成長する有機体」です。利用者に信頼され、愛される図書館を目指して、図書館とともに日々成長していきたいと願っています。

母校の現在

現役生、汗を流して活躍中!

●四国インカレで優勝、準優勝

①女子ソフトボール部「優勝」



●学年学部関係なく皆とても仲良し。それが優勝に繋がったかなと思います。週一ですが部活くらいしか汗を流すことはないし、連帯感を味わうために練習しているとも言えるかも知れません。総当たり全試合コールド勝ち!というところまで相当強そうでしょうか。出場チーム数は内緒です(笑)。代表 原田知佳

②ソフトテニス部「準優勝」



●高知学芸高校でペアを組んでいた明神未来、下元春香ペアは共に看護学部に入學。昨年創部した。今は週二回、効率よく練習している。33組出場中の準優勝には、「チョッピリ満足(照れ笑)」。勝てると面白いから練習にも熱が入る。授業も実習も忙しいが、部員7人皆で励まし合っています!代表 明神未来

③陸上部「準優勝」



●四国インカレから随分日が経ち、アルバイトばかりで、あまり練習できてません。9月の大会に向けてやっと練習再開。四国インカレは、自分の目標とする記録とはかけ離れているものだったので、1回生のうちは、高校時代の自分に少しでも戻れるよう、空いた時間に練習し精進したいです。諸先輩に自信もって報告できるよう頑張ります。代表 尾崎穂乃香

しらすぎ会 ● 各支部だより

高知県支部

卒業生は大学の宝だと……

●本年度の支部総会は、平成27年6月13日(土)に、高知会館において、39名のご参加で、貴重なご意見もいただき、年に一度の楽しく有意義な交流ができました。野嶋佐由美副学長にご臨席いただき、「高知県立大学は独立した2学校法人が統合した形態で、この4月にスタートしている。また、『卒業生は大学の宝』というお言葉もいただきました。私も卒業生はその姿を正す必要を実感いたしました。

本年総会ではいつもの議題の他、会則改正、役員選出が行なわれました。高知県支部は会員数も多く、東部・中央・西部に分けて、各地区でご活躍いただいております。今年はとくに西部地区の発展に力を注ぐことを確認いたしました。

教養講座では一級カラーコーディネーターの山崎真理先生に「色を味方になりたい自分になる」と題してご講演いただきました。色は言葉を超えたメッセージとのことで、カラーコミュニケーション、洋服の色が自分に及ぼす影響、例えば水色の服を着ていたら優しくなれる等々、クレヨンで分かる!あなたの色彩心理……実演を交えながら、たいへん興味深い内容でした。

ところで、記念碑制作の計画も着々と進められております。皆様には再度その募金のお願いを申します。あわせて年会費の納入ならびに寄付に対しても厚く感謝申し上げます。(支部長 原 絢子・生活科学科12回生)

山口県支部

今年はミカン狩り

●今年は、二年に一度の総会の開催です。一人でも多くの方に参加していただけるよう魅力あるプランをとということで前回の総会出席者一同で知恵を絞ったのが「大人の遠足」でした。今回は、恩師今西先生のご提案ご協力を得て周防大島の今西ミカン園でのミカン狩りを計画致しました。



昨年秋、有志三名で予行演習を行ないました(上の写真、後ろ姿でスママセン、笑)。瀬戸内ブルーの美しい海を渡れば先生のミカン園はすぐそこです。丹精込められた農園でのミカン狩りに、まさに遠足気分、ワイワイと楽しい時間を過ごしました。今回は大勢で収穫を楽しみましょう。

日時は12月5日(土)です。ミカンの収穫時期の問題で予定より遅くなりますが……。山陽本線大島駅前の旅館「海月」に集合です。目の前に大島大橋を望む絶好のロケーションで新鮮な海の幸をいただきます。そのあと大島大橋を渡ってミカン園に移動です。会員の方には追って詳細をご案内させていただきます。本部からは小松美鶴理事(s62・国文28)が参加予定です。素晴らしい自然の中で大いに羽を伸ばし、大人の遠足を楽しみましょう。ご参加お待ちしております。(支部長 岡村志津枝・国文学科13回生)



皆さんで、和やかに

徳島県支部

▼平成26年10月25日に、ザ・グランドパレスで



社会人となるための 礎を作った拠点

●しらすぎ会の皆様、お元気ででしょうか。徳島でも厳しい暑さが続いております。徳島県支部は、**平成28年の10月～11月頃に支部総会を開催する予定**です。平成26年の総会時の写真を一緒にお届けいたします。徳島支部の方におかれましては、写真をご覧いただき、懐かしいお顔を見つけたら、次回はぜひお越しください。

私は、平成27年度からしらすぎ会徳島支部のお世話をさせていただいておりますが、2年に1回しか会わないにもかかわらず、支部総会時には参加者の皆さんがとても協力的で、いつも共に働いている仲間であるかのように、それぞれに主体的に動いてくださることに驚きました。総会時には大変お世話になり、誠にありがとうございました。この場をお借りしてお礼を申し上げます。

最近では、地方の時代だといわれています。それは、自分の生活の拠点を大切にすることではないかと思えます。しらすぎ会は、私たちが青春を過ごし、社会人となるための礎を作った拠点であることを、再認識させてくれます。本年度、徳島支部は特別な行事はありませんが、皆さんの身近なところで来年度に参加できるように声をかけあっていただければ幸いです。皆さんとの再会を楽しみにしております。(支部長 多田敏子・看護学科19回生)

になるため、最初にその選出を
者から退職後もいきいきと活発
しらすぎ会本部の川口順子理事は、
総会に合わせて5月16日に開
「高知女子大学発祥の地記念モ
活し下さいました。山崎水紀夫
大学独自の地域と相互交流する
全国表彰された学生の防災サー
についてお話し下さいました。
高知県立大学の様々なことを知
の内容にもかかわらず食事も楽
会後はふなやの喫茶室で二次会を
ました。第50回目となる来年は、
伊賀上睦見・看護学科16回生)

東海支部 たん熊北店で11月14日(土) (ANA CROWNE PLAZA ホテルグランコート名古屋3階で例年のように)

朋有り、遠方より来たる

●「朋有り、遠方より来たる。亦た楽しからずや。」「朋」は、「同じ先生について学んだ者」という意味でしょうか。東海支部は会員数300名近く、三重、岐阜、静岡、愛知と、広範囲に広がります。

同じ年度と同じ学科に学んだ「朋」もいますが、多くは全く知らない者同士です。会う機会もほとんどありません。でも、同じ永国寺キャンパスで学びました。帯屋町で、大丸で、日曜市で買い物をし、高知城を仰ぎ、電車に乗り、鏡川べりを歩き、青春を謳歌しました。この同じ空気を吸った者は「朋」です。そう感じます。その「朋」と年に一度同窓会で会うことが出来ます。これほど嬉しいことはありません。

実は私自身は同窓会に出ていませんでした。先輩に誘われ、見知らぬ人の中でどうしたものやらと不安でいましたが、あるとき、これが「朋」だと気づきました。そしたら**無性に懐かしく思った**のです。毎年、遠方より来たる「朋」は10名ほどですが、楽しく語り合っています。今は参加していない「朋」が一人、二人と増えていってほしいと切に願っています。2015年支部総会には本部から川村雅子理事(s46・食栄4)がご参加予定です。(幹事 山本真理子・国文学科16回生)



しま
(当時)が出席してくださり、初
時を過ごしました。昼食、自己紹
しい建物、整った設備、学部・学
材を送り出すための熱い思いが伝
口女子大学発祥の地記念モニユメ
。
会長のお話が…。(因みに、ご存
41回生で、高知県庁の農業関係
「土佐独特の食べ物」では、いた
あげられ、他県でいたどりを採っ
では芋の茎用の芋を栽培している
加者からは、食べ物にまつわる高
という間に終了予定時刻を迎えて

参加の方、大歓迎です。一緒に楽し
田中めぐみ・国文学科9回生)

香川県支部

学生時代の 思い出と重ね 語り合いましょう

日時 平成27年11月14日(土)
 場所 高松国際ホテル 高松市木太町2191-1
 総会 10時30分～12時 ☎087-831-7220
 懇親会 12時～14時 (会費3,000円)
 支部会費 1,000円 (年間500円の2年分)

●しらすぎ会香川県支部の会員の皆さま、お変わりございませんか。今年**は2年に一度の支部総会が開催**されます。楽しみにされている方もおられ、支部役員としてとても嬉しいことです。支部役員会で日程、場所等を上記の通り決定しています。

5月16日に永国寺キャンパスで「ホームカミングデー」と称した催しがありました。しらすぎ会のホームページをご覧くださいになり、参加された方もおられるのではないのでしょうか。いかがでしたか。

歴史と伝統を持つ実験棟と講義棟。そして管理棟も含めての取り壊しが今年に予定されています。ぜひとも支部総会に出席されて、ご覧になったり感じられたりしたことを、学生時代の思い出と重ねて語り合ってみませんか。

支部総会にご来賓として、しらすぎ会前会長の永尾朱美様(家政学科一回生)にお越しいただき、県立大学の現状や土佐の食についてお話いただく予定です。お問い合わせのうえご出席くださいますよう、ご案内申し上げます。(支部長 嶋村洋子・家政学科一回生)

京阪神支部

運営形式、新たな視点で

●京阪神支部の活動については、しらすぎ会報3号(昭和43年9月15日発行)に、「京阪神にも」と題して大阪天満橋キャッスルホテルで京阪神支部が昭和43年4月2日に誕生したニュースが掲載されています。しかし、手元に残る京阪神支部の同窓会活動の記録を繙いてみても活動記録として残っているのは以下の内容のみです。第1回は昭和49年(1974年)5月19日に奈良慈光院を会場に開催し、翌年の昭和50年に第2回を大阪みのお山荘で行ない、その際、総会・親睦会を2年毎に開催することを取り決め、昨年(平成26年)の総会・親睦会で21回の活動を重ねています。

また、しらすぎ会京阪神支部の会の運営は、会則(昭和63年10月22日)により平成元年から学科の輪番制で行なわれています。それにより、平成27年・28年度の支部役員は食物栄養学科3期生(昭和45年卒業)の4名(大井、大石、眞光、道倉)が担当します。

本会の現在の課題は、大学の組織が高知女子大学から高知県立大学に改編、学部学科の新たな設置、また惜しまれながら廃止されたことにより、これまで続けてきた輪番制では対応できない状況が生起していることです。今後、**さらなる発展を図るためには運営の形式について熟慮しなければいけない時期になっており、妙案をなんとか絞り出したいと思っています。**

次回の総会・親睦会の開催日程は、**大阪駅にあるホテルグランヴィア大阪において2016年11月20日(日)12:00～15:00に決定**しています。多くの同窓生の皆さん、特に若い皆さんに多数参加をいただきたいと願っています。ご参集よろしくお祈いします。(幹事 大井加壽子・食物栄養学科3回生)



▲写真は全て2014年11月16日の総会会場です



愛媛県支部

盛りだくさん



本部から二人の来賓をお迎えし、支部会員23名出席のもと、平成27年6月28日(日)に、道後温泉「ふなや」で

●愛媛県支部では代議員が次年度から二人で行ないました。近況報告では、多くの出席者に過ごされている様子が語られました。しらすぎ会の変革が続いている大学の現状、しらすぎ会が催した**ホームカミングデーの様子、そして「ニューメント」制作のための活動**についてお話を聞いた。課長(高知県立大学地域連携課)は、県立大学の学生の活動、大学の学生支援、**2年連続で全学コンクール活動**(※10面「レーダー通信」参照)について

高知女子大学時代とは大きく変化していることができてよかったとか、盛りだくさん楽しめた、などの感想をいただきました。閉会式、交流会をさらに深めてお開きとなり、また、英文学科の卒業生で運営されます。(幹事)

広島県支部

初参加も大歓迎♥

●2014年10月25日、15回目の広島支部会を広島市で開催しました。しらすぎ会本部からは永尾朱美会長も参加の方も含めて13名で、なごやかなひとときを過ごした後、高知県立大学紹介DVDを観賞。美しい風景の取り組みなどから、**地域で求められる人材**について話がありました。さらに永尾会長からは、高知女子大学の施設建設についての活動内容も紹介されました。

そして…「土佐の食」をテーマにした永尾会長のお話。高知の方も多いと思いますが、永尾会長は家政学科の時代に長く勤められた方です。お話の一つ、どりのり・りゅうきゅう・にんにく葉・芋の茎を挙げていたら訝しがられたという人の話や、高知で食べたものなど、興味深く聴かせていただきました。参加者の思い出や広島のお話も出て、あっという間に時間が過ぎました。

次回(来年)は福山市で開催します。初参加の方も歓迎です。ぜひお時間を過ごしましょう!(支部長 日)



全ての年代の参加を得て

岡山県支部



●平成 24 年に岡山支部が再スタートし、初回は 12 名だった参加者も、本年（いつものホテルメルパルク岡山のレストラン「ミザール」で 8 月 23 日開催）は 18 名になりました。とくに今回は **80 代から 20 代（高知女子大から高知県立大）までのすべての年代の参加**で、年齢・学科は違っても同じ学び舎での思い出を楽しく共有することができました。和やかな雰囲気の中、全員が発言され、「はよしね」（早くしなさい）や「でえこてえてえてえ」（大根炊いておいて）の岡山弁も飛び出し、笑いっぱいになりました。

本部から宮田福氏と原絢子氏にご臨席を賜り、宮田氏には「食の安全について」、原氏には「現在の大学の様子」をご講話いただき、興味深く拝聴いたしました。

昨年度の同窓会を写真付で地元（岡山）の山陽新聞「集い」の欄に投稿いたしました。**昨年は参加されなかった方が新聞を見て今年は参加くださった**と伺って、他にも新聞を見て高知を懐かしく思い出された同窓生もおられるのではないかと喜んでおります。岡山での同窓会を（高知までは行けないけれども）毎年楽しみにしているという声を聞くと、スタッフも嬉しく励みになります。そして**スタッフも楽しみながら準備を行なっていくことが同窓会の継続と発展に繋がっていくもの**だと思います。**28 年度は 8 月 21 日（会場未定）**に開催いたします。

（支部長 桐本尚美・生活理学科 7 回生）

関東支部

第 18 回 総会・懇親会 開催

開催日 ●平成 27 年 10 月 25 日（日）
12 時 30 分～15 時

会 場 ●京王プラザホテル 47 階
あおぞら

会 費 ●一万円（支部運営費等込み）

●記録的な猛暑の続いた今夏、皆様お元気に乗り切られたことと存じます。今年も、第 18 回しらさぎ会関東支部総会・懇親会の開催年度です。

今回は、昨年、文化学部（イギリス近代文学）を退官されました**青木晴男特任教授、しらさぎ会本部津野真千子副会長**がお出で下さいます。

夏からは校舎の改築も始まっていることと思います。どうぞ皆様にご出席いただき、昔懐かしいお話、未来への飛躍など、楽しいトークを満喫していただきたいと思っております。

前回の総会でも、大先輩のパワーとご活躍ぶりに接し、かくぞありがたいものと、お手本を見せていただいた思いが致しました。どうぞ今年も皆様ご出席下さり、後輩に喝を！

なお、会場の「あおぞら」は 47 階、三方が見晴らしのよい高層階です。お天気が良ければ、眺望もグッドです。大勢の皆様のご参加をお待ち致しております。（支部長 山崎和子・国文学科 14 回生）

九州支部

福岡大濠公園で 10 月 25 日（日）正午から！

会 場 水と緑のオアシス大濠公園 フレンチレストラン「花の木」
福岡市中洲大濠公園駅から徒歩約 4 分 ☎ 092-751-3340

内 容 ①母校の様子と「しらさぎ会の今日」本部 副会長 山本雅子様

②教養講座 地域課題解決に向けた大学の新たな取り組み

～高知県中山間地域等訪問看護師育成講座について～看護学部教授 森下安子様
※木場富喜先生（薩摩川内市在住、88 歳、元看護学科教授）にご出席交渉中

●今回は教養講座が加わりますので、より有意義な会になると思います。葉書を送りますが、友だちを誘ってぜひご参加を。前回開催の鹿児島は桜島の火山活動が警戒レベルにあり心配しております。皆さんお元気でしょうか。木場先生、二宮さん、小湊さん、宮岡さん、また、本部から川口順子先生、有難うございました。

現在、九州支部の会員は地元に戻って就職されるからでしょうか。**入会が 24 年度 16 人、25 年度 24 人と年々増加**しています。福岡 122 人、大分 95 人、宮崎 86 人、長崎 84 人、鹿児島 68 人、佐賀 48 人、沖縄 31 人、熊本 33 人です。

九州支部は岡崎富子さんが長く支部長をされ、小林玲子さんから私が引き継ぎ 14 年になります。そのとき、交通の便の良い福岡で 4 年に 1 回、その間、2 年に 1 回は別の所で開催することとし、熊本、沖縄、佐賀、鹿児島と続いています。**長崎、大分、宮崎で実現する方法**を探しています。ご意見お寄せ下さい。（支部長 宮川麗子・看護学科 14 回生 ☎ 090-1519-0393）



▲癒しの空気に包まれて…
「フレンチレストラン花の木」
正統派フランス料理に + 福岡
ならではのおもてなし！

平成 27 年度 支部会員数 (27 年 4 月末現在) 人

関東支部(東京、神奈川、埼玉、千葉、茨城、栃木、群馬、山梨)	503
東海支部(愛知、岐阜、長野、三重、静岡、新潟)	258
京阪神支部(大阪、京都、奈良、和歌山、兵庫、滋賀)	830
岡山県支部	274
広島県支部	206
山口県支部	63
香川県支部	480
愛媛県支部	581
徳島県支部	599
高知県支部	3,359
九州支部(福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄)	567
平成 27 年 4 月末現在、会員数の合計は 11,408 人	

平成26年度会計報告 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

○一般会計・収入の部 (円)

項目	H26年度予算	H26年度決算	増減	備考
繰越金	5,861,492	5,861,492	0	
入会金	4,242,000	4,242,000	0	14000円×303名(学部生279+院生24<本学学部及び研究科出身者を除く>)
利息	-	2,131	2,131	奨学金返済口座も含む
奨学金返済金	560,000	540,000	-20,000	S02-1:12万、S08-1:2万円、S07-1:6万円、S07-2:5万円、S09-1:6万円、S09-2:6万円、S10-1:6万円、S10-2:6万円、S11-1:5万円
前年度寄付金	261,220	261,220	0	H25年度寄付金
その他	-	0	0	
合計	10,924,712	10,906,843	-17,869	

・支出の部 (円)

項目	H26年度予算	H26年度決算	増減	備考
総会費(総会)	50,000	10,915	-39,085	総会用茶菓子他
旅費	350,000	209,790	-140,210	総会代議員旅費
卒業祝	550,000	439,890	-110,110	ふくさ1,419円×310名
入学祝	120,000	146,124	26,124	タイタック記章:330円×410個
学生支援	800,000	100,000	-700,000	奨学金0名、アオギリにたくして上映費
支部強化	800,000	713,181	-86,819	支部総会開催補助金、総会理事参加旅費
広報	1,000,000	865,287	-134,713	会報48号9,500部 校正料込 寄付・募金者名簿制作代
会議費	80,000	94,000	14,000	理事会交通費
小計	3,750,000	2,579,187	-1,170,813	
事務費	300,000	64,533	-235,467	PCソフト代、什器備品、事務用品、封筒等
報償金	100,000	56,580	-43,420	会報発送等アルバイト料
賃金	750,000	712,500	-37,500	千円×6205h+賞与22千円×2+交通費4千×12月
会報発送	600,000	571,896	-28,104	発送費
その他通信費	150,000	85,025	-64,975	振込料、電話、葉書、切手、送料等
小計	1,900,000	1,490,534	-409,466	
予備費	5,274,712	204,788	-5,069,924	記念モニュメントに関する費用、事務局電気料、事務局員饂飩代等
合計	10,924,712	4,274,509	-6,650,203	

○特別会計・基本金

次期繰越金 10,906,843-4,274,509=6,632,334 (円)

項目	H26年度予算	H26年度決算	増減	備考
繰越金	15,529,940	15,529,940	0	H25年度
入会金	303,000	303,000	0	H25年度卒業生1,000円×303名(学部生279+院生24<本学学部出身者を除く>)
利息	-	29,047	29,047	
合計	15,832,940	15,861,987	29,047	

・在学生預かり金 (円)

項目	H26年度決算	備考
繰越金	18,922,583	H23=319名、H24=305名(学部生3名未納)、H25=307名(学部生7名未納)
H26年度入学生	4,545,000	15,000×303名(学部生278+院生25<学部生7名未納>)
未納者入金	45,000	15,000×3名(H25入学生)
H25年度卒業生	-4,545,000	15,000円×303名(学部生279+院生24<本学学部及び研究科出身者を除く>)
利息	51,918	
退学者返金	-255,000	15,000×17名 H25年度退学者返金
振り込み手数料	-2,160	
合計	18,762,341	

・H26寄付金(一般)(円)

内訳	金額
H26募金(振込)	5,000
手数料	-80
合計	4,920

・H26モニュメント募金(円)

内訳	金額
H26募金(銀行振込)	72,000
H26募金(郵貯振込)	1,255,000
手数料	-27,648
合計	1,299,352

・モニュメント募金総額(円)

内訳	金額
H25年度募金	3,830,750
H26年度募金	1,299,352
合計	5,130,102

平成27年度予算 (H27.4.1～H28.3.31)

○一般会計・収入の部 (円)

項目	H27年度予算	備考
繰越金	6,632,334	H26年度繰越金
入会金	4,298,000	H26年度卒業生14,000円×307名(学部生282+院生25<本学学部及び研究科出身者を除く>)
利息	-	
奨学金返済金	540,000	返還者8名
前年度寄付金	4,920	H26年度寄付金
その他	-	
合計	11,475,254	

・支出の部 (円)

項目	H27年度予算	備考
総会費	20,000	総会茶菓子他
旅費、交通費	350,000	総会代議員旅費、理事・監事交通費
卒業祝	550,000	校章入り袱紗1,500円×320名(学部+院)
入学祝	150,000	タイタック記章330円×400個
学生支援	900,000	奨学金1名、学生支援等
支部強化	800,000	支部総会開催補助等
広報	1,000,000	会報49号9000部、寄付者名簿制作代
会議費	80,000	理事、監事交通費
小計	3,850,000	
事務費	300,000	事務用品、封筒
報償金	100,000	会報発送等アルバイト料
賃金	750,000	65h×1,000×2日×50w+22,000円×2回+交通費4,000×12ヵ月、時間外手当他
会報発送	700,000	82円×8,000通
その他通信費	150,000	振込手数料、電話、葉書、切手、送料等
小計	2,000,000	
予備費	5,625,254	
合計	11,475,254	

○特別会計・基本金 (円)

項目	H27年度予算	備考
繰越金	15,861,987	H26年度繰越
入会金	307,000	H26年度卒業生1,000円×307名(学部生282+院生25<本学学部および研究科出身者を除く>)
利息	-	
合計	16,168,987	

○在学生預かり金 (円)

項目	H27年度	備考
繰越金	18,762,341	H24-305名(学部生3名未納)、H25-310名(学部生4名未納)、H26-303名(学部生7名未納)
H27年度入学生	5,970,000	15,000円×398名(学部生367+院生31<本学学部及び研究科出身者を除く>)
H26年度卒業生	-4,605,000	15,000円×307名(学部生282+院生25<本学学部及び研究科出身者を除く>)
利息	-	
退学者返金	-120,000	15,000円×8名 H26年度退学者返金
合計	20,007,341	

○モニュメント募金 (円)

項目	金額	備考
繰越金	5,130,102	H27.3.31現在

監査報告 領収書、出納簿、預金通帳等監査した結果、財務が適正に処理され、誤りなどの問題がないことを認めます。

人事消息

(敬称略)

●退職(平成27・3・31)
 文化学部教授 李春美 同
 教授 井本正人。看護学
 部講師 廣川恵子、同助
 教 塚原和香奈、同助教
 野島真美、同助教 平
 山司樹(かずき)、同助教
 森下幸子。社会福祉学
 部准教授 黒田しづえ。
 健康栄養学部教授 中村
 富子。地域教育研究セン
 ター准教授 團野哲也。

●採用教員(平成27・
 4・1)文化学部教授 井
 上次夫、同准教授 宇都
 宮千穂(新姓岩佐)。看
 護学部助教 永井真寿
 美、同助教 井上さや子
 同助教 西塔(さいとう)
 佐久美、同助教 田之頭
 恵里、同助教 塩見理香
 同助教 庄司麻美。社会
 福祉学部助教 上田(う
 えだ) 恵理子、同講師
 河内(こうち) 康文。地
 域教育研究センター講師
 野辺陽子。

●採用教員(特任)(平成
 27・4・1)文化学部特任教
 授 青木晴男。看護学部
 特任助教 橋本理恵子。
 健康栄養学部特任教授
 逸見(へんみ) 幾代。地
 域教育研究センター特任
 教授 佐藤恵里。看護学
 部研究科特任教授 中山洋
 子、同特任教授 畦地博
 子。健康長寿センター特
 任准教授 森下幸子、同
 特任助教 野村陽子。

平成27年度 総会 & 意見交換会

平成26年度の活動報告

今春、完成したばかりの永国寺キャンパス教育研究棟で、学歌斉唱。名誉会長等にご挨拶いただいた後、岸野典子さんを議長に選出、議事開始。理事会が計10回開かれたこと、高知女子大学発祥の地記念モノユメント事業の経過、募金者が3月末現在で88人、募金活動は継続していることなどがまず報告された。

モノユメントの募金状況についての会場からの質問には永尾会長から、「募金目標の80万円には達していない。基礎部分の費用も必要で、不足分は総会議決いただいている特別会計の基本金から捻出予定としている」と説明された。

ホームカミングデー開催について

開催決定までの経緯は、まず平成26年5月に大学側から開催を検討中であり、しらすぎ会へは協力依頼の確認。その後、大学主催の方向で検討されたが、最終的には大学主催の実施はないとのこと、しらすぎ会として旧校舎とのお別れ会をどうするかを理事会で検討。小委員会の設置が第4回理事会で決定され、大学側との協議で開催日を決定。以後、小委員会を中心に詳細を検討した旨、報告された。

学生支援の報告

26年度、奨学金貸与に関して

は応募者がなかったことをまず報告。次いで、若い世代に戦争の悲惨さを訴え、平和の輪を広げることの大切さを学ぶことを目的に、学生支援として映画「アオギリにたくして」の上映会を主催したことを報告。

支部活動の報告

26年度は6月22日の愛媛県支部を皮切りに、高知県、岡山県、広島県、徳島県、東海支部、京阪神支部で行なわれた旨、報告。

平成27年度の事業計画

永尾会長から、記念モノユメント募金、その活動の継続、学生支援として奨学金貸与は50万円を一名計画する、会則改正についての提案などがなされた。

しらすぎ会会則の改正について

26年度理事会で見直しを審議された条項について提案された。主な条項は、第6条の「本会に次の役員をおく。理事は15名以内とする。監事2名とする」と数を明記する点が承認された。第7条の任期について「2カ年とし、再任を妨げないが、3期を限度とする」と、限度を加えた点についての質問には永尾会長から「期限を作ることで新たな役員の参加を望みたい。会長職に就くには2期では短く、3期の経験が望ましい」となどの提案理由の説明がなされた。第10条で小委員会に位置づけ

5月16日(土)に永国寺キャンパス

ていた推薦委員会は、見直しにより、第20条「本会に推薦委員会をおく」として、承認された。

役員改選

森下安子推薦委員長より候補者(推薦)資料配布。議場推薦で高知県支部長の原絢子氏を含め15名で来期役員とすることが、賛成多数で承認され、会則8条に則り、理事の互選で、会長・副会長が決定した。



▲南会学総居だは会
裕長、務総事た全うす
子は、務総事た全うす
長は、務総事た全うす
し、男もき、て
(し、男もき、て
長は、務総事た全うす
子、男もき、て
長は、務総事た全うす

27年度 しらすぎ会の体制

- 名誉会長 南裕子(学長 顧問 野嶋佐由美(副学長) 荻沼一男(副学長) 【理事】 会長 山崎美恵子 副会長 津野真千子、山本雅子(理事) 池上美佐子、岩城ゆかり、川口順子、川村雅子、北村貴美、小松美鶴、田中真希、仁尾郁、原絢子、藤原佑佳子、水田佐智子、横川峰子(監事) 永尾朱美、西谷抄希子
- 記念碑建設委員会
●山崎美恵子、永尾朱美、津野真千子、宮田福、中岡道子、霧田和子、中澤寿美恵
- 会報編集委員
●仁尾郁、水田佐智子、坂本正子、坂本美和、澤田智恵、竹内久恵、森和美

同窓会活動への期待

世間は今年が戦後70年の節目にあたることを機会に歴史論争が活発です。高知女子大学の発祥そのものが1945年、戦後で女性医師を養成する県立女子医学専門学校だったこと、勉学どころかすぐ敗戦、廃校の運命となり女子専門学校を経て高知女子大学の認可へと繋がり、高知県立大学として生まれ変わった歴史をかえりみると熱いものがこみあげてきます。

全国一の貧乏之県にもかかわらず池や永国寺に真新しい建物を次々建設。そして文化学部・看護学部・社会福祉学部・健康栄養学部・大学院へと高齡社会の人間と生活を支える体制が整いつつあります。先生方のたゆまぬ研究と業績で科研採択率が群を抜いていることや、学生たちの地域に根差した活動や災害への取組からも、その努力が偲ばれます。

意見交換会

支部の共通課題は、若い層への呼びかけを工夫したいこと、岡山県支部では参加増を期待して地元紙に投稿した、など報告された。当日、進行を務め、新年度理事を退かれた梶原和歌支部担当理事に、同窓会活動への期待をこめ寄稿いただいた。

への期待。①年代や学部学科に係なく高知女子大・県立大で学んだ卒業生はみんな平等です。いざ!という時、同じ目的のために手を繋げられるような広報活動を充実させて欲しい。②役員改選は各学部の声が反映されるよう推薦委員会を中心に民主的な運営で。③何より大事なことは、理事がどんなに苦労して、母校の発展と会員双方のニーズを汲み、情報収集し、理事会で議論し、それこそ創造たくましく知恵をだし運営されているか、会員一人ひとり主体的に想像し、理解してください。記念モノユメント建設運動・ホームカミングデーの成功・平和の映画(アオギリにたくして)上映等たくさん刺激を与えて下さいました。立ち止まっては首をかしげ、飛び立つ可愛い、しらすぎを大事にしましょう。(家政学部 衛生看護学科10回生 梶原和歌)

リーダー通信 平和を切望し出版

●東海支部の高田美智子さんの今年『戦争と月と』を出版。で、平和を願う必死の思いに迫るベトナム戦争の真実を邦訳したもの。



2年連続全国表彰

●「イケあい地域災害ボランティアセンター」の学生が、25年度ぼうさい大賞(ぼうさい甲子園)に続き、26年度は消防庁長官賞(防災づくり大賞)を受賞!

ホームカミングデーで学生活動発表

●発表してくれたチーム!

- 1 学生自治会
- 2 活輝創生実行委員会
- 3 生協学生委員会 cas
- 4 エスコーターズ
- 5 COME☆RISH
- 6 こめっ娘。
- 7 sun-fes
- 8 Society For Everyone
- 9 シネマ・フィロソフィア3.11
- 10 イケあい地域災害
- 11 健康隊



▲ポスターセッションの風景

現役生にお世話になりました!

懐かしい校舎に別れを惜しむ舞台を創ってくれたホームカミングデーの担当者のひとりが末富貴さん(昨年まで連続20年以上、しらすぎ会理事)だが、その彼末さんに、「会場設営はじめ、彼女の頑張りのおかげで、スムーズにことが運んだ。彼女にこそ話を聞いてみて!」と、推薦されたのが文化学部3回生、地域文化論研究室(清原泰治ゼミ)の岩川薫里さん(右)だった。



▶ポスター、提供は岩川薫里さん

1回生の4月、各自が役割を決める際、人気がなかったのが「学生自治会」で、だからこの会を選んだそうだが、「まさか、人気がないのに、こんなに忙しい、やることいっぱいとは知らなかったです!」と、しかし、とても嬉しそうに満足気に自己紹介してくれた。

薫里さんはいま、地域に出て様々活動しているが、「地域の皆さんに期待されていると実感できるのが嬉しくてたまらない」。期待してもらえらるなら、「自分もなんとかその期待に応えたいから頑張れる」という。コミュニケーションの第一歩は「とにかくどんなことでも、まずは断わらない」こと、難しいと思っても、あれこれ工夫すること、道は拓けると信じているのだそう。将来は「地域へ出て、地域で住民と活動することを仕事に選びたいと考えている」そう、今後のゼミの着地点は「域学共生」の理論強化だとか。頑張つて!

●いま大学は「域学共生」方針を掲げ、地域の人々と大学が協働する人材育成を行なっています。地域に出ることの多い学生さんたちの活動発表は、そのまま社会人としても通用しそうな「即戦力」に溢れ、ちよつと驚かされました。

戦争は怖い……

上映会をぜひ各地で!

敗戦から70年が過ぎ、戦後生まれが8割を超えた。「平和であること」は、どれほど尊いか…。

この映画の上映会は、16歳で終戦を迎えた大川須美さん(女専英文2回生横浜市在住)の、「どうしても、どうしても、若者にこの映画を観せたい」という熱い情熱に支えられて実現した。

昨年5月、永尾会長に大川さんから長距離電話で、しらすぎ会への協力依頼。永尾会長は、しらすぎ会理事会をはじめ、平和の尊さを身体で知る諸先輩や大学の先

今やらねば、いつできる! 私たちがやらねば、

— 来高の内閣府大臣政務官と「イケあい」の学生が懇談 —



2015.07.09 池キャンパス

防災活動に主体的に取り組むサークル「イケあい地域災害ボランティアアセンター」との懇談会で、政務官は、「学生のやりたことへの支援も行っていきたい」などエールを送られた。

しらすぎ会の学生支援のための映画会を開催



生方にも相談した。理事会での意思

統一は比較的早い段階で図られたが紆余曲折も経つつ、結局、清原泰治教授から、「学生にも協力してもらい、2015年2月1日に実施しましょう!」という有難い協力体制が決まった。

当日は100分の上映が2回と、映画制作者の中村里美さん、協力者の伊東茂利さんからもご挨拶。併せて約140名が参加。なお、前日の田野町での上映会は森下玲子さん(女専英文1回生横浜市在住)の骨折りで実現した。さらに、7月4日には堀江美さん(女専英2回)の企画で、仙台市YWCAご協力のもと300人近い参加者に観ていただいた。

「原爆映画なのに、全く説教くさくない。久しぶりに涙を流した。それにしても、戦争は怖い。身に迫る恐怖を感じた。我々も平和のために何か動かなければ、この「5千万円かかる。自身の身を滅ぼすから映画なんか創るな」と、周りの猛反対に遭った中村さんの自主映画制作の直接のきっかけになったのだ。大川さんは、「とにかく、色々な人に観てほしい。それだけお願い」といわれている。



▶永国寺キャンパスのアオギリ(日27.8.18)

上映会を開くには

- ① 仲間作り
- ② 会場を借りる
- ③ 告知、集客 (チラシ百枚648円+送料)

窓口 (株)ミュージズの里
☎ 070-6511-7275
<http://aogiri-movie.net/>

【有料上映会】

● 上映料金 (百人以上千円以上、学生800円を基準で。料金の60%が映像使用料。40%分は主催者様の経費に。)

【少人数有料試写会】

● 一人千円 × 人数分 = 上映料。

【無料上映会】

● 料金は、上記基準、詳細ぜひ上記、窓口へ。

高知女子大学
発祥の地
記念モノユメント

記念碑建設委員会活動報告2015

●イメージスケッチ到着

平成27年1月、お正月早々、モノユメント制作者新宮晋氏よりイメージスケッチが届きました。永国寺キャンパスの地域交流広場に設置されるモノユメントは回転する翼の部分がステンレス製で白に塗装、脚部はコールドレン鋼で、高さ5メートル50センチ程の想定スケッチ図から、

しらすぎの舞う雰囲気を感じられる優しくて雄大な全体像をイメージすることが出来、嬉しい出発の年明けとなりました。

●着々と、具体的な協議

それを受けて大学、高知県建設設計業者への報告と調整など、大学の事務局長を窓口にお願いで進めております。モノユメントは大型で、しかも風で動きまわります。5月23日には

委員4名で神戸市三田の新宮晋アトリエに出向き、県より依頼のあった基礎技術面を交渉しました。この9月3日には新宮晋・保子ご夫妻と関係機関で再協議。地域交流広場内のモノユメント設置位置の確認、設置行程及び役割分担の調整も行なわれました。



平成27年9月3日、永国寺キャンパスで新宮ご夫妻と、関係機関で協議

このように記念碑建設は具体化に向けて焦点が集約されつつあり、完成にむけて非常に前進している感もてました。また、メモリアル碑についても法人により調整がなされています。

●常設展示場で初公演

その他、記念碑建設委員会のメンバーは、新宮氏の活動への側面協力にも精出しております。風の彫刻家として世界に名を馳せる氏の作品の常設展示場『風のミュージアム』が「兵庫県立有馬富士公園」内に昨夏開設されたことはお知らせした通りです。文化の発信基地の役割を担う『風のミュージアム』の第一

回野外公演「風の能」がこの5月に開かれ、幽玄美漂う新能を、満員の観客と共に有志で鑑賞してまいりました。

●募金活動の現状

今号の会報で詳しくお知らせしてきた永国寺キャンパスでのホームカミングデーにおいて、記念碑に関するコーナーを設け、新宮晋氏の紹介や進捗状況、イメージスケッチの展示等を行い、出来る限り同窓生にお伝えし、情報を共有することにも努めております。その際に設置した募金箱にはお陰様で新たな募金も寄せられております。募金活動の現状につきまして、同封紙の金額となりました。基礎工事に関わる経費等も必要であり今後とも募金活動を続けさせていただけます。ご協力をどうかよろしく願いたします。(記念碑建設委員会委員長 山崎美恵子)

恩師は今

●2015年の春退職された井本先生に、近況をご寄稿いただきました。

彼方への期待

井本 正人

退職して4カ月あまり。研究会、委員会、講演といった残務も一応区切りがつき、このところ人生の第3ステージのモード(大学中心から自己責任の人生へ)になってきているのを実感しています。生活が単調になりがちな日常の中で、これまで温めてきた研究分野に本格的に取り組まはじめていて、困難な作業の彼方になが見えてくるのか楽しみです。

一方、私の所属していた生



2015.0806. 仕事部屋で

活デザイン学科が廃止され、実に残念な上に学生たちの卒業論文(研究)も大学には残らないとのことでしたので、すでに他

界された教員が指導された卒業論文で手許にあったもの百冊ほどは卒業生の手許に届けさせていただきました。これには多くの方から心のこもった礼状をいただきました。また、この間、川口順子先生と協力して生活デザイン(家政)学科の学年ごとの記録(デジタルアーカイブ)を作成していただきました。卒業生中心に退職を祝っていただいた際に一部紹介しましたが、充実したものにしていくためにご協力よろしく願いたします。

すでに新たな出会いも始まっています。これまで続いていた卒業生のみなさんと心温まる交流は今後も大切に、人生の糧としたく考えています。



文化発信基地の第一回野外公演で、水面に映える「風の能」

- 事務局 (Fax・mailは常時)
 - ☎ Fax 088 (847) 5606
 - mail : sirasagi@cc.u-kochi.ac.jp
 - http://www.u-kochi.ac.jp/~sirasagi/
 - 事務局員勤務(曜日、時間注意)
 - 2015年9月～2016年3月
 - 水 14:00～17:00
 - 木 9:30～16:30
 - 金 9:00～12:00
 - 2016年4月～
 - 木&金 9:30～16:30

しらすぎ会連絡先